

### (30) 看護学教育における授業モデルの検討

サイバー・キャンパス・コンソーシアム看護学グループは、22年6月、9月、11月の3回開催し、学士力（モデル・コアカリキュラム）の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

チーム医療の中で患者の立場で最良の看護を考えることができる能力を身に付ける授業モデルを2例とりあげることにした。

一つは、看護を計画的に展開する能力を身に付けさせるため、患者の訴え、症状・検査、治療データをアセスメントする中で、データから読み取れない患者に内在する問題を発見し、看護を改善することができるよう、グループのPBL学習をLMS上で展開し、グループ間で相互評価や討論を行い、最適な看護を考える授業モデルとした。

二つは、チーム医療の中で他職種と連携して最適な看護を提供できる能力を身に付けさせるため、複数学科（医療・看護・福祉・薬学）の連携で模擬患者に対する看護のシミュレーションや看護計画の作成などを行わせ、作成した支援計画をネット上で発表し、相互評価による振り返りで質の高い看護能力を身に付けさせる授業モデルとした。